

## ライト点灯について

セッティング中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、**ⓑ** ボタンを押すと、紫外線領域発光のLEDライトが約2秒間点灯して、アナログ部の蛍光塗料に反応します。

→暗いところでも表示を見ることができます。



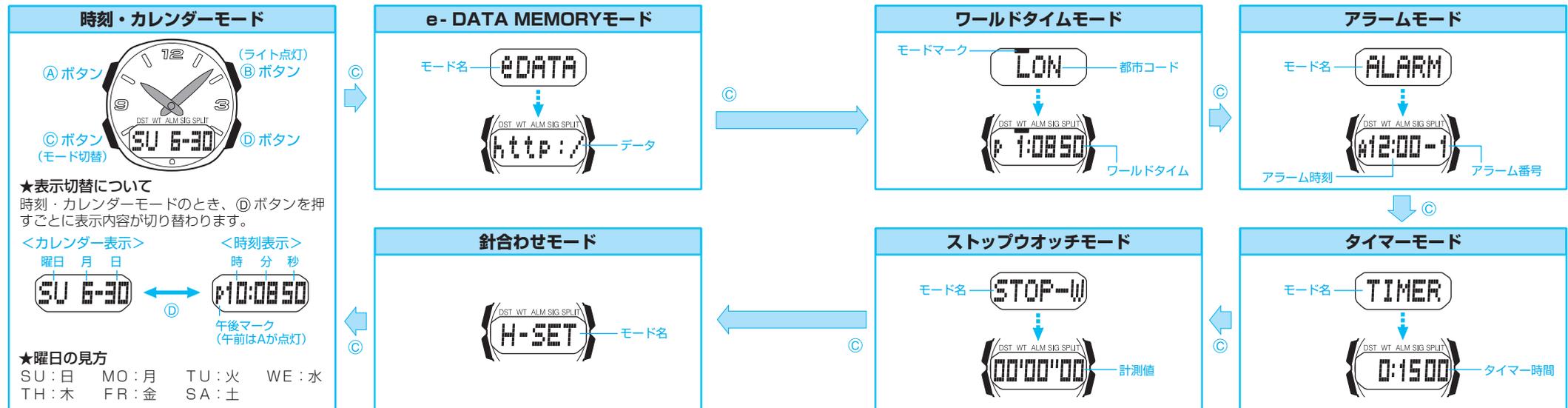
### ■ご注意■

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中に **ⓑ** ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、発光を中断します。

## 操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※ e - DATA MEMORY モードのまま2～3分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。



## e - DATA MEMORYの使い方

e - DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※1件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。

- ・1件あたり63文字のデータを入力した場合、5件まで記憶できます(1件あたり64文字以上のデータは入力できません)。
- ・1件あたり7文字のデータを入力した場合、40件まで記憶できます(1件あたり6文字以下のデータでも記憶できる総件数は40件までとなります)。

※e - DATA MEMORYモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※パスワードを登録すると、モードを切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。

\*「■パスワード機能について」参照。

### ★表示の見方

#### <データ表示>

※データを6文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます(データの最後に「◀」マークがつきます)。



データ

Ⓐ ボタンを押すと表示が止まり、もう一度Ⓐ ボタンを押すと動きだします。

#### <メモリー残量表示>

※データを1件も入力していないときは、「100%」と表示されます。



1秒ごと

※すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されているときは、「0%」と表示されます。



メモリー残量

#### <パスワードセット表示>

※パスワードを登録していないときは、「SET」と表示されます。



1秒ごと

※すでにパスワードが登録されているときは、「CHANGE」と表示されます。



\*パスワード未登録の場合

## ◎ ボタンを押して、e - DATA MEMORYモードにします。

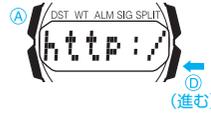
### ■ データのサーチ

e - DATA MEMORYモードのとき、Ⓐ ボタンを押します

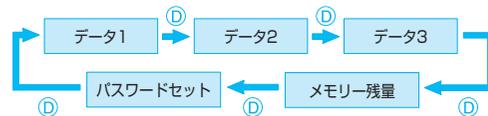
⇒ Ⓐ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

※押し続けると早送りします。

※データ入力をしたページとメモリー残量、パスワードセットのページを表示します。  
なお、データを1件も入力していないときは、メモリー残量とパスワードセットのページのみ表示します。



例) データを3件入力したとき



### ■ データを入力する

#### (1)メモリー残量を表示させる

e - DATA MEMORYモードのとき、Ⓐ ボタンを押します

⇒ Ⓐ ボタンを押して、メモリー残量を表示させます。

※すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されているときは、不要なデータを消しておいてください。

\*「■データの消去」参照。



メモリー残量

#### (2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ データの1桁目が点滅します。



データ1桁目

#### (3)点滅箇所をセットする

Ⓐ または Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓐ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓐ · Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



戻る  
D  
進む

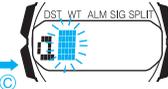
#### 入力できる文字について

- 英小文字 a~z
- 英大文字 A~Z
- 数字 0~9
- 記号 \* \_ @ ^ \ / ? # ! % . : ; ' , & = + ( )

#### (4)桁を移動させる

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すと点滅箇所が右に1つ移動します。



### ■ データの修正

#### (1)修正したいデータを選ぶ

e - DATA MEMORYモードのとき、Ⓐ ボタンを押して修正したいデータを選びます

#### (2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ データの1桁目が点滅します。

#### (3)データを修正する

◎ ボタンを押して修正したい箇所(pointing)に点滅を移動させ、Ⓐ または Ⓑ ボタンを押して正しい文字を表示させます。

#### (4)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

◎ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓐ または Ⓑ ボタンを押して文字を入力する操作を繰り返してデータを入力します。

#### (5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※続けて他のデータを入力したいときは、(1)~(5)の操作を繰り返して行ないます。

※データは入力した順に記憶していきます。

### ■ データの消去

#### (1)消去したいデータを選ぶ

e - DATA MEMORYモードのとき、Ⓐ ボタンを押して消去したいデータを選びます

#### (2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ データの1桁目が点滅します。

#### (3)データを消去する

Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

⇒ "CLR" 表示後、データが消去されます。

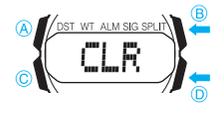
※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

#### (4)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※データを消去すると、後ろのページが1ページずつ繰り上がります。



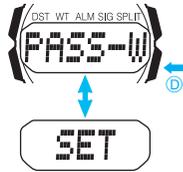
## ■パスワード機能について

パスワード機能とは、4桁の番号を入れないとデータ呼び出せない機能です。  
他人に見られたくないデータ保存に便利です。

### ●パスワードの登録

(1)パスワードセットのページにする

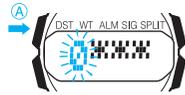
e - DATA MEMORYモードのとき、**ⓐ** ボタンを押します



⇒ **ⓐ** ボタンを押して、パスワードセットのページにします (右図)。

(2)セット状態にする

**ⓐ** ボタンを約2秒間押します



⇒パスワードの1桁目が点滅します。

※ もう一度 **ⓐ** ボタンを押すと、点滅が止まり、登録を途中でやめることができます。

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります (この場合、パスワードは登録されません)。

(4)4桁の番号を入力したら、

**ⓐ** ボタンを押します

⇒点滅が止まり、登録完了です。

※ 4桁の番号を入力後、**ⓐ** ボタンを押さないとパスワードは登録されません。

※ パスワード登録後、他のモードへ切り替えてから再び e - DATA MEMORYモードに戻ると、パスワード入力表示となります。

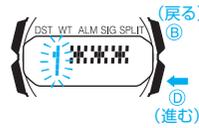
### ■ご注意

●パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。

(3)パスワードを入力する

a. 数字を入れる

**ⓐ** または **ⓑ** ボタンを押します

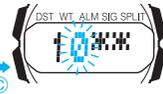


⇒ **ⓐ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **ⓐ**・**ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。

b. 桁を移動させる

**ⓐ** ボタンを押します



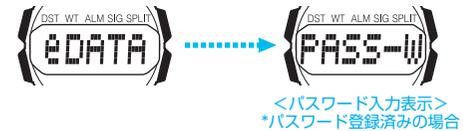
⇒点滅箇所が右に1つ移動します。

※ 数字を入力してから桁を移動させてください。

a.~b.の操作を繰り返して、パスワードを入力します

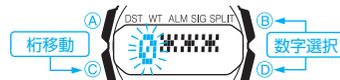
### ●パスワードの入力

パスワードを登録すると、e - DATA MEMORYモードに切り替えた直後はパスワード入力表示となり、パスワードを入力しないとデータを見ることができません。



(1)パスワード入力表示のとき、

登録時と同様に、「●パスワードの登録」 a.~b.の操作を繰り返して、登録したパスワードを入力します



※数字を入力してから桁を移動させてください。

※ **ⓐ** ボタンを押すと、点滅が止まり、入力を途中でやめることができます。

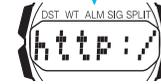
(2)4桁の番号を入力したら、

**ⓐ** ボタンを押します

⇒パスワードが合っているときは、「OK!」表示後、データを表示します。

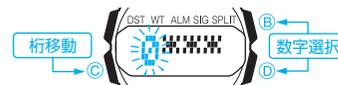


⇒パスワードが間違っているときは、「ERR」表示後、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。



(3)新しいパスワードを入力する

登録時と同様に、「●パスワードの登録」 a.~b.の操作を繰り返して、新しいパスワードを入力します

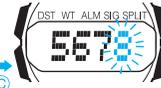


※数字を入力してから桁を移動させてください。

(4)4桁の番号を入力したら、

**ⓐ** ボタンを押します

⇒点滅が止まり、変更完了です。



### ●パスワードの変更

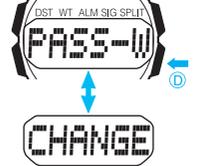
一度登録したパスワードは、変更することができます (パスワードを変更しても、データに影響はありません)。

準備：「●パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

(1)パスワードセットのページにする

**ⓐ** ボタンを押します

⇒ **ⓐ** ボタンを押して、パスワードセットのページにします (右図)。



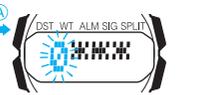
(2)セット状態にする

**ⓐ** ボタンを約2秒間押します

⇒パスワードの1桁目が点滅します。

※ もう一度 **ⓐ** ボタンを押すと、点滅が止まり、変更を途中でやめることができます。

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。



### ●パスワードの消去 (パスワード機能の解除)

準備：「●パスワードの入力」の手順で、現在のパスワードを入力して、データを表示させます。

(1)パスワードセットのページにする

**ⓐ** ボタンを押します

⇒ **ⓐ** ボタンを押して、パスワードセットのページにします (右図)。

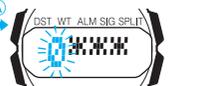


(2)セット状態にする

**ⓐ** ボタンを約2秒間押します

⇒パスワードの1桁目が点滅します。

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。



(3)パスワードを消去する

**ⓐ** ボタンと **ⓑ** ボタンを同時に押します

⇒「CLR」表示後、パスワードが消去 (パスワード機能が解除) されます。



## ワールドタイムの使い方 ◎ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市コードを表示後、その都市の時刻を表示します。

※時刻・カレンダーモードで基本時刻（ホームタイム）および都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

### 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに「都市コード」が進みます。都市コード表示後、その都市の時刻を表示します。

※押し続けると早送りします。  
※都市コードのないタイムゾーンは、時差を表示します。

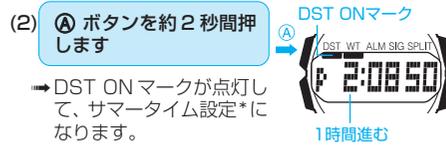


## サマータイム (DST) について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

## サマータイムの設定

(1)ワールドタイムモードのとき、◎ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。



⇒DST ONマークが点灯して、サマータイム設定\*になります。  
\*サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。

※DST ONマークが点灯しているときに、◎ボタンを約2秒間押しすると通常の時刻に戻ります。

※各都市ごとにサマータイムの設定ができます。

※“GMT”表示のときは、サマータイム設定はできません。

## 都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---		-11	パゴパゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、 ペイルート
HNL	ホノルル	-10	パペーテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレジ	-9	ノーム	JED	ジェッダ	+3	クウェート、モスクワ
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、 ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+3.5	
DEN	デンバー	-7	エルバストン、エドモントン	DXB	ドバイ	+4	アブダビ
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、 メキシコシティ	KBL	カプール	+4.5	
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、 マイアミ、ボストン	KHI	カラチ	+5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ	DEL	デリー	+5.5	
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、 ブエノスアイレス	DAC	ダッカ	+6	
---		-2		RGN	ヤンゴン	+6.5	
---		-1	アソレス諸島	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
GMT		±0	<グリニッジ標準時>	HKG	ホンコン (香港)	+8	シンガポール、 クアラルンプール、 北京、台北、マニラ
LON	ロンドン	±0	ダブリン	---			
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、 フランクフルト	TYO	東京	+9	ソウル、平壤
				ADL	アデレード	+9.5	
				SYD	シドニー	+10	グアム
				NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2001年12月現在作成のものです。

※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

## アラーム・時報の使い方 ◎ボタンを押して、アラームモードにします。

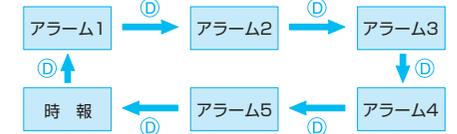
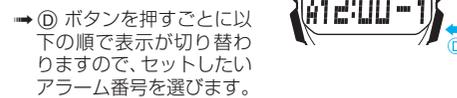
本機には、時分を設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

※アラーム・時報はデジタル部の基本時刻（ホームタイム）に合わせて鳴ります。

## アラーム時刻のセット

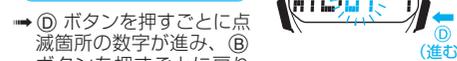
(1)アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、◎ボタンを押します



(4)点滅箇所のセット

◎または◎ボタンを押します



⇒◎ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◎ボタンを押すごとに戻ります。

※◎・◎ボタンとも、押し続けると早送りします。

(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(5)セットを終わる

◎ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

(2)セット状態にする

◎ボタンを約2秒間押しします

⇒アラーム時刻の「時」が点滅します。

※このとき、アラームが自動的にONになり、アラームONマークが点灯します。



(3)セット箇所を選ぶ

◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

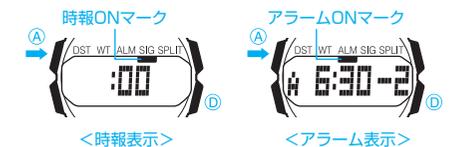


## アラーム・時報のON/OFF設定

準備：アラームモードのとき、◎ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに、マークが点灯／消灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



## 鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

## モニターアラーム

アラームモードのとき、◎ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

## タイマーの使い方 ㊟ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過(タイムアップ)すると、10秒間電子音が鳴ります。

### ■ タイマー時間のセット

#### (1) セット状態にする

タイマーモードのとき、**㊟** ボタンを約2秒間押しします



→ タイマー時間の「時」が点滅します。

#### (2) セット箇所を選ぶ

**㊟** ボタンを押します

→ **㊟** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



#### (3) 点滅箇所のセット

**㊟** または **㊟** ボタンを押します

→ **㊟** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**㊟** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **㊟**・**㊟** ボタンとも、押し続けると早送りします。



(3)~(4)の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00”にします。

#### (4) セットを終わる

**㊟** ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

## ■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、**㊟** ボタンを押します

→ **㊟** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



- ★計測ストップ後、**㊟** ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります(リセット)。
- ★ロスタイムがあるときは、**㊟** ボタンでストップ後、もう一度 **㊟** ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

## ストップウォッチの使い方 ㊟ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

### ■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、**㊟** ボタンを押します

→ **㊟** ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



- ★計測中に**㊟** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります(スプリットマーク点灯)。
- ※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- ★計測終了後 **㊟** ボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。

#### ● 通常計測



スタート ストップ リセット

<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに**㊟** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

#### ● スプリットタイム(途中経過時間)の計測



スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

<スプリット表示中>

スプリットマーク



#### ● 1・2着同時計測



スタート 1着ゴール(1着タイム表示) 2着ゴール 2着タイム表示 リセット

## 時刻・カレンダーの合わせ方 以下の操作は時刻・カレンダーモードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

※デジタル時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

## デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方 (ホームタイム都市の設定)

### (1) セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、**A** ボタンを約2秒間押しします



→ 「秒」が点滅します。

### (2) 秒合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて **D** ボタンを押しします



→ 「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。

### (5) 「時刻・カレンダー」合わせ

#### a. **C** ボタンを押しします

→ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



#### b. **D** または **B** ボタンを押しします

→ **D** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります。



※ **D**・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。

### (3) サマータイム (DST) の ON / OFF を選ぶ

#### **C** ボタンを押しします

→ ONまたはOFFが点滅します。  
※ OFF = 通常時間  
ON = サマータイム設定



#### **D** ボタンを押しします

→ ON または OFF が切り替わります。

### (4) ホームタイム都市を選ぶ

#### **C** ボタンを押しします

→ 「都市コード」が点滅します。

#### **D** または **B** ボタンを押しします

→ **D** ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、**B** ボタンを押すごとに戻ります(「都市コード一覧」参照)。

※ **D**・**B** ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※ 「12/24時間制切替」のときは、**D** ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」とが切り替わります。

※ 「時」のセットのとき午前(A) / 午後(P)、または24時間制にご注意ください。

※ 「年」は00(2000年)～39(2039年)の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

### (6) セットを終わる

#### **A** ボタンを押しします

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

## アナログ(針)部の合わせ方

アナログ部とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備: **C** ボタンを押して、針合わせモードにします。

### (1) セット状態にする

#### **A** ボタンを約2秒間押しします

→ 現在時刻が点滅して、セット状態になります。



### (2) **D** ボタンを押しします

→ 針が正転方向(進む方向)に進みますので、時刻を合わせます。

※ **D** ボタンを押すと、1/3分(20秒)進みます。

※ 押し続けると早く進みます(針は逆方向には進みません)。

### ★ 針の自動早送り

**D** ボタンを押し続けている間、**B** ボタンを押すと、針が自動的に早く進みます。

※ いずれかのボタンを押すと針が止まります。

※ 時針が一回りすると早送りが止まります。

### (3) セットを終わる

#### **A** ボタンを押しします

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。